

泉大津市の就学前教育・保育施設の現状と課題について（修正版）

1 子どもを取り巻く環境の変化

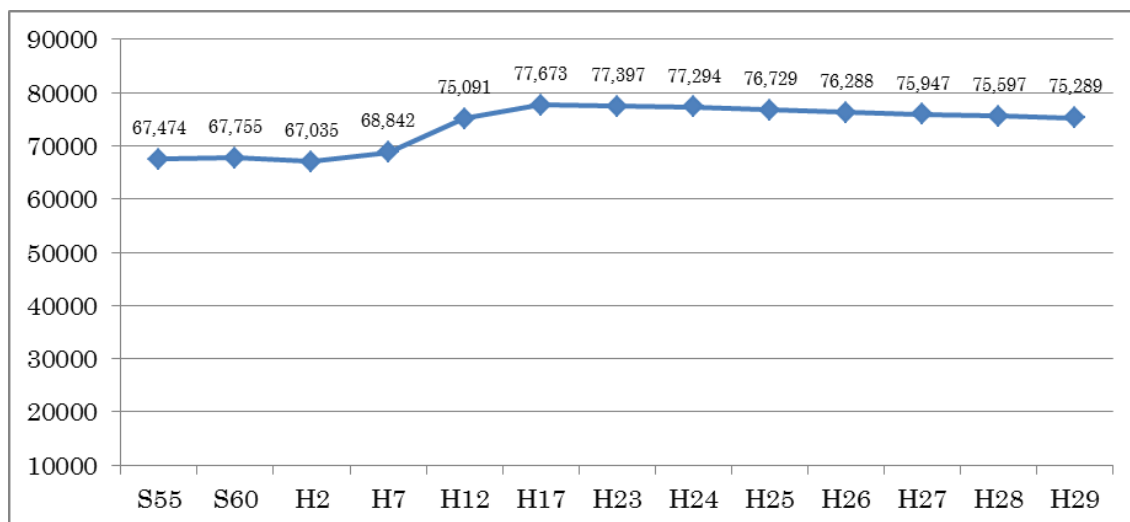
昨今の社会の変化は、人々の子育て子育ちに関する意識にも様々な変化をもたらしました。女性の社会進出や出生率の低下、少子化・核家族化の進行、地域コミュニティの希薄化は、子どもが子ども同士の交わりの中で育ちあう環境を減少させ、子育ての様々な知恵の伝承が途絶えて、子育てに悩む保護者も多くなってきています。

また、共働き世帯の増加、就労形態の多様化やひとり親世帯の増加などにより延長保育、一時保育、休日、病児、病後児保育等、保育ニーズが増大、多様化してきています。このような社会的背景により、本市においても、保育所への入所希望は増加する一方で、公立幼稚園については、園児数は年々減少傾向にあり、クラス数の減、少人数でのクラス運営などの課題が生じています。そのため、多様化する子育てニーズに対応し、子どもが安全で、安心して過ごせる充実した「教育・保育」環境を提供する必要があります。

2 教育・保育の現状

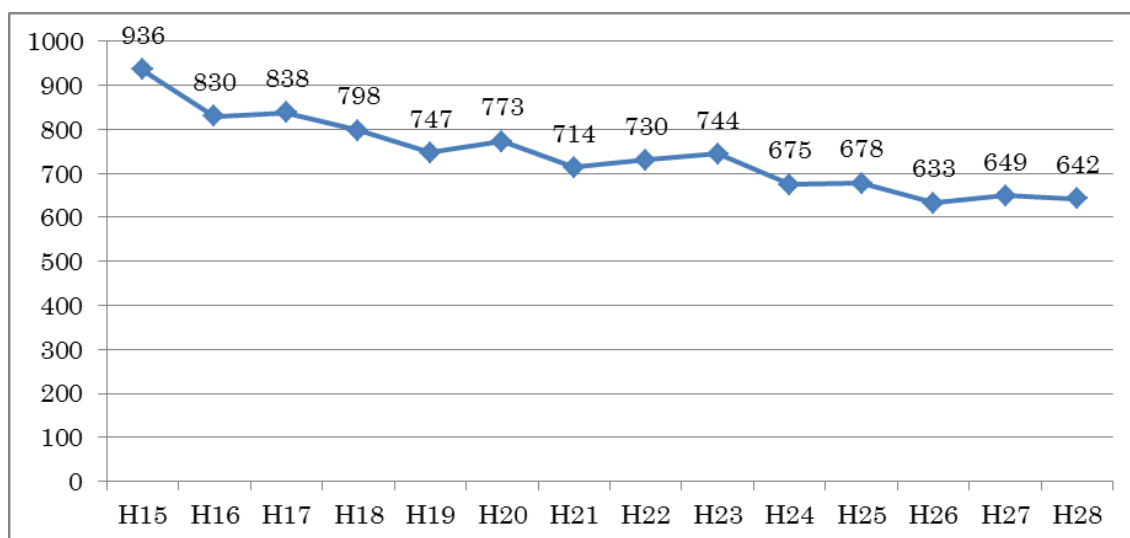
(1) 人口、児童数に関する動向

【総人口の推移】単位：人



(各年4月1日現在)

【年間出生数の推移】単位：人



(各年1月1日～12月31日)

【就学前児童数の推計】 単位：人

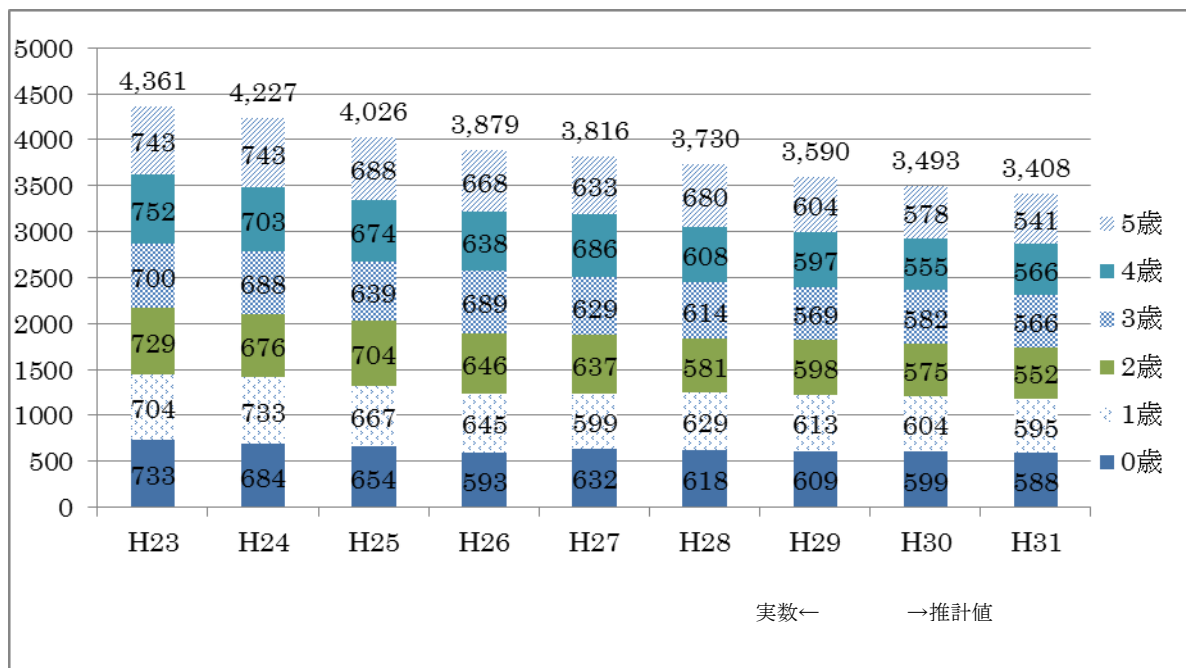
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
0 歳	632	618	609	599	588
1 歳	599	629	613	604	595
2 歳	637	581	598	575	552
3 歳	629	614	569	582	566
4 歳	686	608	597	555	566
5 歳	633	680	604	578	541
計	3,816	3,730	3,590	3,493	3,408

(各年 4 月 1 日現在)

(備考)

・平成 30 年度、31 年度については、平成 27 年度～29 年度にかけての各年齢毎における児童の増減割合を定数として、平成 29 年 4 月 1 日時点の児童数に乗じて平成 30 年 4 月 1 日児童数（推計値）を算出。同定数を平成 30 年 4 月 1 日児童数に乗じて平成 31 年 4 月 1 日児童数（推計値）を算出。

【就学前児童数の推移】 単位：人



(各年 4 月 1 日現在)

(2) 就学前教育・保育施設

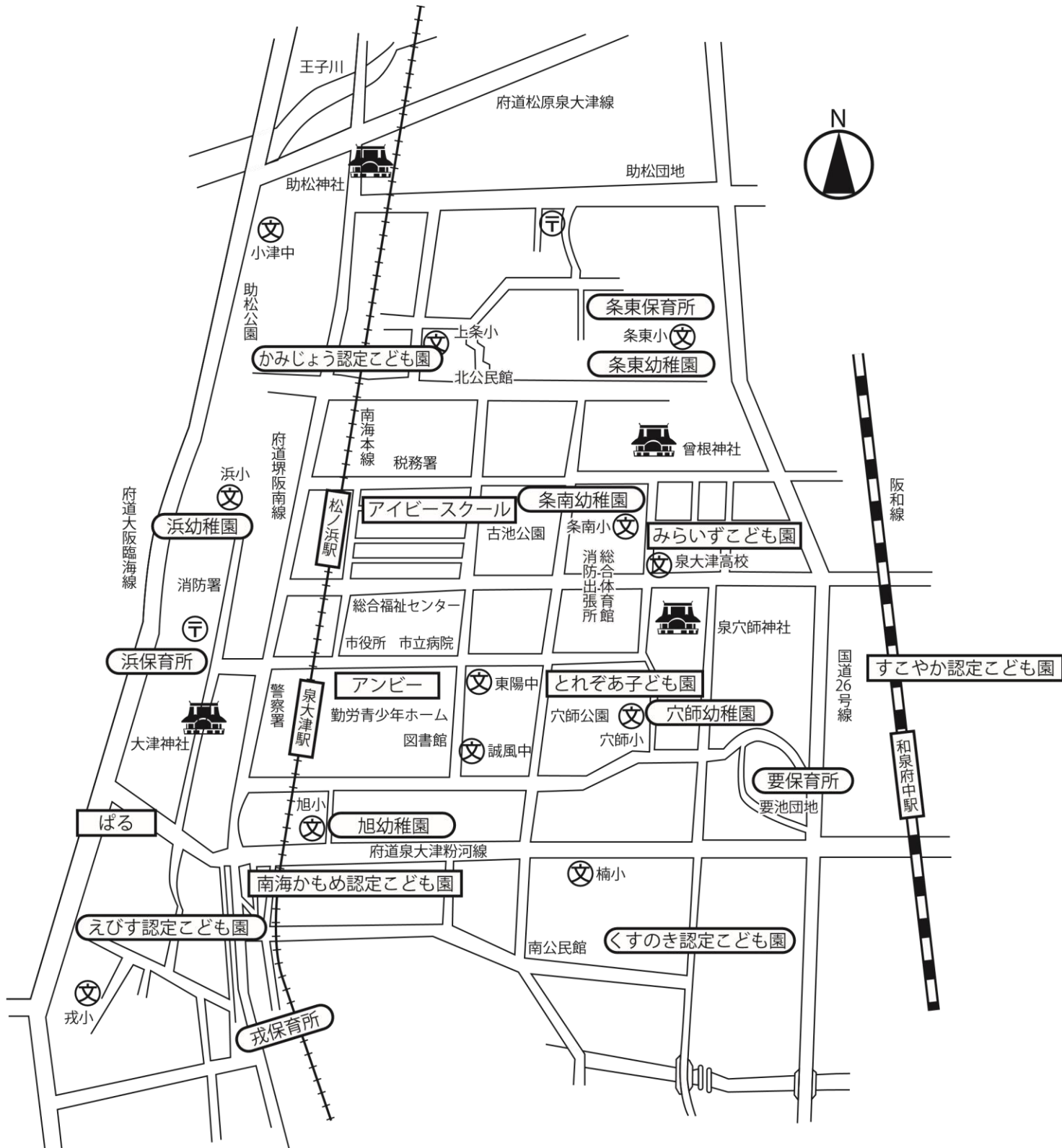
【平成30年度 保育所・幼稚園・認定こども園 一覧表】

施設の種類	施設名	備 考
公立保育所	浜保育所	
	戎保育所	0～2歳児対象
	条東保育所	1～5歳児対象
	要保育所	
公立幼稚園	旭幼稚園	
	穴師幼稚園	
	浜幼稚園	平成30年度末廃園
	条東幼稚園	
	条南幼稚園	
公立認定こども園	くすのき認定こども園	
	かみじょう認定こども園	
	えびす認定こども園	平成30年4月開園
民間認定こども園	認定こども園アイビースクール	
	認定こども園アンビー	
	みらいずこども園	
	認定こども園ぱる	
	南海かもめ認定こども園	
	すこやか認定こども園	
	とれぞあこども園	

○公立幼稚園・保育所、公立・民間認定こども園

公立

民間



3 保育所の現状と課題について

社会での就労形態の変化や女性の社会進出などに関連した保育ニーズの増加及び多様化する保護者ニーズに対応するため、本市では平成25年度、戎保育所を低年齢児対象保育所とし、また平成26年度「くすのき認定こども園」を開園、平成27年度には、上条保育所と上條幼稚園を統合した「かみじょう認定こども園」を開園し、平成30年4月には、宇多保育所と戎幼稚園を統合した「えびす認定こども園」を開園する予定です。

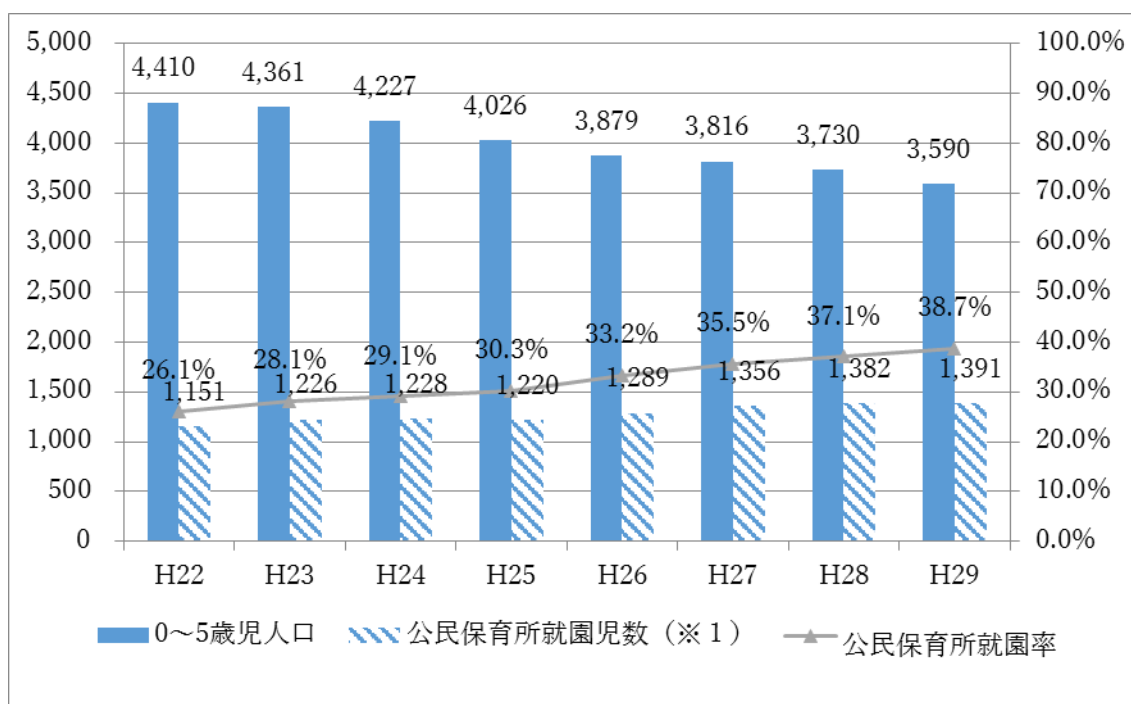
しかしながら、就学前児童数は減少しているにもかかわらず、保育所への入所希望、延長保育、一時保育などの需要は年々高まり、入所児童数も定数を超える状況となっています。

【公民保育所園児数及び就園率の推移】

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0～5 歳児人口	4,410	4,361	4,227	4,026	3,879	3,816	3,730	3,590
公民保育所就園児数（※1）	1,151	1,226	1,228	1,220	1,289	1,356	1,382	1,391
公民保育所就園率	26.1%	28.1%	29.1%	30.3%	33.2%	35.5%	37.1%	38.7%

（各年4月1日現在）

※1 認定こども園2号、3号を含む。



4 幼稚園の現状と課題について

本市では、小学校区に1園の公立幼稚園があり、昭和46年度から2年保育を実施、平成11年度には3年保育を開始しました。また長時間や長期休業中の預かり保育など多様な保護者ニーズに積極的に対応してきました。しかし少子化が進む中、総園児数がピーク時の平成15年度1,437人から、平成29年度は620人（認定こども園化した2園の1号認定含む）に減少しており、今後も、園児数の減少が継続されることが予想されます。

また、クラス数も減少し（平成15年度57クラス→平成29年度36クラス）各学年で、単学級が増え、平成29年度の複数学級の園は、幼稚園6園中、条東幼稚園4歳児クラス、条南幼稚園3歳児クラスのみとなっています。

さらに、浜幼稚園については、平成29年度の園児数が3歳児5名、4歳児20名、5歳児19名、合計44名であり、現状のままでは幼稚園教育の上で重要な集団の育ちを保障することが困難なことから、平成29年度については次年度の3歳児の新規入園募集は行わないこととし、平成30年度末をもって、他の就学前施設と統合することとしました。

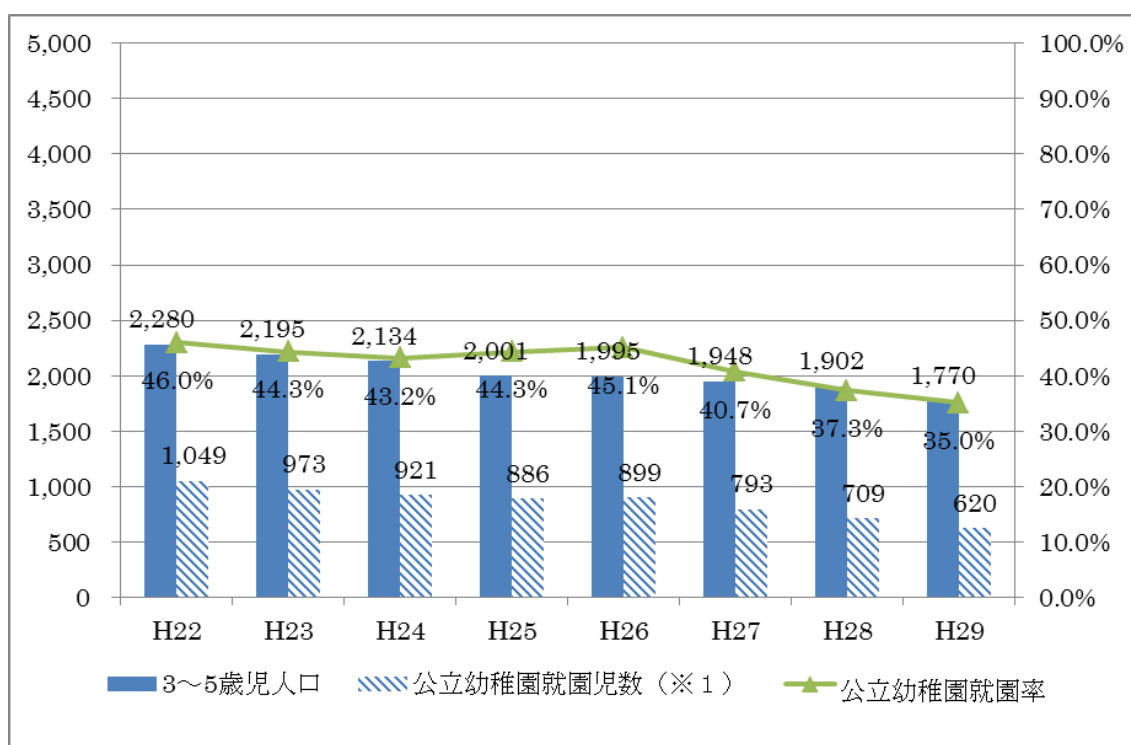
幼児期は、自我が芽生え、他者を意識しだして、自分を抑制しようとする気持ちの芽生えが生まれる時期です。園児数が少ない園では、集団生活の中で子ども同士の関わりが限られ、仲間意識の育ちや人との関わりの中での支え合いや折り合いの付け方等が育ちにくくなることが考えられます。

【公立幼稚園園児数及び就園率の推移】

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
3～5歳児人口	2,280	2,195	2,134	2,001	1,995	1,948	1,902	1,770
公立幼稚園 就園児数 (※1)	1,049	973	921	886	899	793	709	620
公立幼稚園 就園率	46.0%	44.3%	43.2%	44.3%	45.1%	40.7%	37.3%	35.0%

(各年5月1日現在)

※1 公立認定こども園1号就園児童数を含む。



5 認定こども園の推進

本市では、幼稚園と保育所がこれまで担ってきた役割や実践内容を基本としつつ、それぞれの良さを活かし、就学前の子どもの成長と発達段階に応じた質の高い教育・保育を一体的に行うための環境を整え、多様な保育ニーズに応える保育サービスの充実及び待機児童の解消を図るため、既存の施設の再編による認定こども園の整備を進めてきました。

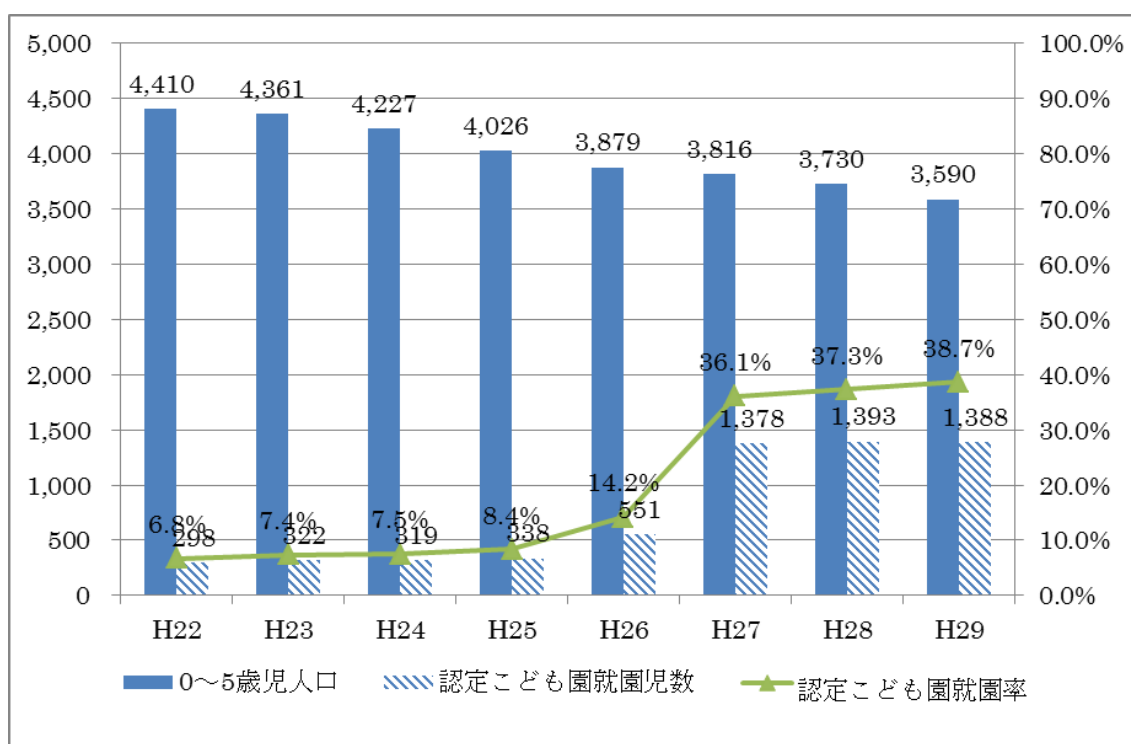
楠幼稚園と平成25年6月1日開設のくすのき保育所が統合し、幼保連携型認定こども園として平成26年4月に市内で初の公立の「くすのき認定こども園」を開園しました。続けて平成27年4月には、上條幼稚園と上条保育所を統合した「かみじょう認定こども園」を開園、平成30年4月には、戎幼稚園と宇多保育所を統合した「えびす認定こども園」を開園する予定です。

今後、子どもたちが心身ともに健やかに成長・発達し、生き生きと乳幼児期を暮らし、心豊かな生活を営む基礎となる力を身につけていくためには、本市の幼稚園と保育所がこれまでの長い歴史の中で培ってきた実績を生かしながら、それぞれの特徴を発揮していき、双方の連携を強化し、総合的な子育て施策の展開と体制の構築を図っていくことが必要であると考えます。

【公民認定こども園園児数及び就園率の推移】

区分	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
0～5歳児人口	4,410	4,361	4,227	4,026	3,879	3,816	3,730	3,590
公民認定こども園就園児数	298	322	319	338	551	1,378	1,393	1,388
公民認定こども園就園率	6.8%	7.4%	7.5%	8.4%	14.2%	36.1%	37.3%	38.7%

(各年4月1日現在)



(認定こども園の設置状況)

- 平成 22～25 年度 民間 2 園 (保育所から移行)
- 平成 26 年度 公立 1 園 (公立幼稚園と保育所を統合)・民間 2 園
- 平成 27 年度 公立 2 園 (公立幼稚園と保育所を統合)・民間 7 園 (保育所から移行)
- 平成 30 年度 公立 3 園 (公立幼稚園と保育所を統合)・民間 7 園 (保育所から移行)